

# リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

## 2018年3月期 決算補足資料



2018年5月15日

1. 2018年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 株主のための施策 ① (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	22. 株主のための施策 ② (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	IRに関するお問合せ (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『オーディオラーニング』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『J-MOTTO Web勤怠』のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『ハッスルモンスター』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】 事務所移転のお知らせ (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	
9. その他サービス 業績 (P.10)	
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	
11. 連結貸借対照表 (P.12)	
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念と長期ビジョン (P.16)	
16. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2019年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 譲渡制限付株式報酬制度の導入 (P.20)	
20. 自己株式の消却・取得 (P.21)	



# 1. 2018年3月期 重点施策・取り組み



1Q

2Q

3Q

4Q

- ▶ 採用支援サービス『ReferMe(レファミリー)』取り扱い開始
- ▶ 図書総合管理サービス『名館長クラウド』雑誌管理機能追加
- ▶ 譲渡制限付株式報酬制度の導入
- ▶ クラウド型勤怠管理サービス『J-MOTTO Web勤怠』提供開始
- ▶ 格付ロジック改定
- ▶ eラーニング『コンプライアンス』関連2コース提供開始

- ▶ eラーニング『製造／物流』関連5コース 提供開始
- ▶ オーディオラーニング『聴くだけで学べる ビジネスマナー』提供開始
- ▶ eラーニング『目指せ！TOEIC(R) L&R対策コースシリーズ』6コース提供開始
- ▶ 海南紐康情報システム有限公司の株式取得
- ▶ 全ての自己株式を消却(2017年9月29日)  
消却した株式の種類 当社普通株式  
消却した株式の総数 105,000 株

- ▶ 商談管理・日報管理システム『ハッスルモンスター』提供開始
- ▶ eラーニング『製造／物流』関連5コース追加(全10コース)
- ▶ eラーニング『個人情報保護 教育プログラム(改正法対応、2018年版)』提供開始
- ▶ 格付ロジック改定

- ▶ 株式会社ファーマクラウドの株式取得
- ▶ 自己株式の取得(2018年3月14日 取締役会決議内容)  
取得対象株式の種類 当社普通株式  
取得し得る株式の総数 71,500 株  
株式の取得価額の総額 100,000,000円  
取得期間 2018年3月15日～4月30日

## リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第4回 離婚したくなる亭主の仕事
- ▶ 第5回 世界に誇れる日本企業
- ▶ 第4回 100年後も生き残ると思う日本企業

## リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第3回 大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング
- ▶ 第7回 格付ロジック改定によるRM格付変動の影響
- ▶ 第5回 金持ち企業ランキング
- ▶ 第2回 合コンしたいと思う企業ランキング

## リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第7回 この企業に勤める人と結婚したいランキング
- ▶ 第1回 若手社員の仕事・会社に対する満足度
- ▶ 第6回 お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業

## リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第4回 企業の取引リスクに対する意識
- ▶ 第8回 格付ロジック改定によるRM格付変動の影響
- ▶ 第5回 仕事・会社に対する満足度
- ▶ 第4回 就職したい企業・業種ランキング

## リスモン業界レポート 調査結果発表

- ▶ 飲食品卸売業
- ▶ 不動産取引業
- ▶ 鉄鋼業

## リスモン業界レポート 調査結果発表

- ▶ パルプ・紙・紙加工品製造業
- ▶ 金属製品製造業
- ▶ 設備工事業

## リスモン業界レポート 調査結果発表

- ▶ 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
- ▶ 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- ▶ 食料品製造業

## リスモン業界レポート 調査結果発表

- ▶ 電気機械器具製造業
- ▶ 窯業・土石製品製造業
- ▶ プラスチック製品製造業

	2017年3月期	2018年3月期	増減	前期比
売上高	2,686,740 千円	2,811,396 千円	124,656 千円	104.6 %
営業利益	381,651 千円	404,858 千円	23,206 千円	106.1 %
経常利益	386,715 千円	408,217 千円	21,502 千円	105.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	247,938 千円	262,052 千円	14,113 千円	105.7 %
1株当たり当期純利益(EPS)	62.82 円	67.24 円	4.42 円	107.0 %
会員数	10,838 ID	11,440 ID	602 ID	105.6 %
自己資本当期純利益率(ROE)	6.1 %	6.2 %	0.1 ポイント	101.6 %

### ◆ 売上高

主力の与信管理サービス等が堅調であり、他のセグメントにおいても堅調に推移したため、前期を上回りました。

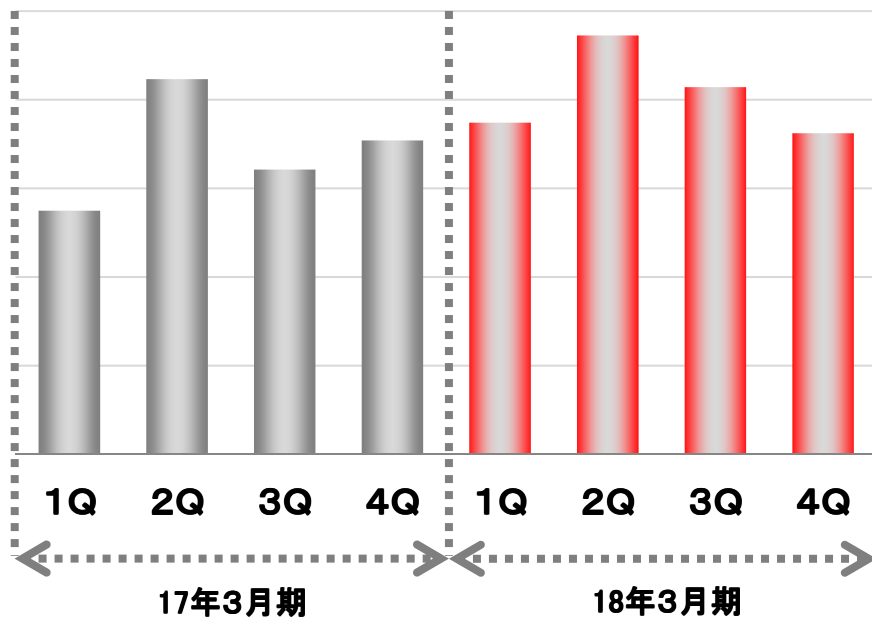
### ◆ 利益

一部のセグメントにおいて先行投資が発生したものの、主力の与信管理サービス等の利益の増加が寄与し前期を上回りました。

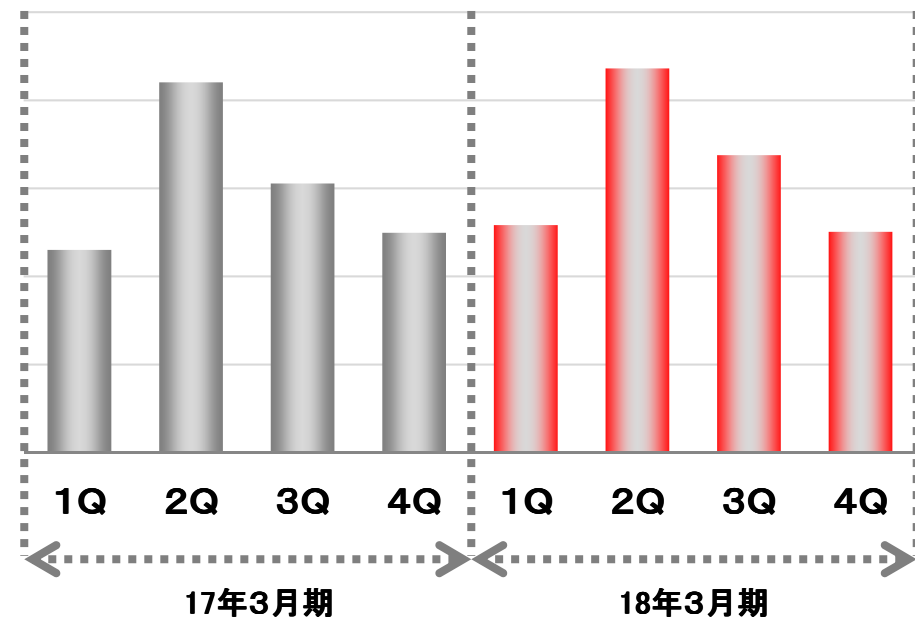
(単位：千円)

2018年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	687,027	736,219	707,072	681,077
営業利益	82,508	135,856	106,304	80,189
2017年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	637,440	711,639	660,631	677,028
営業利益	74,050	131,117	96,630	79,853

## 売上高



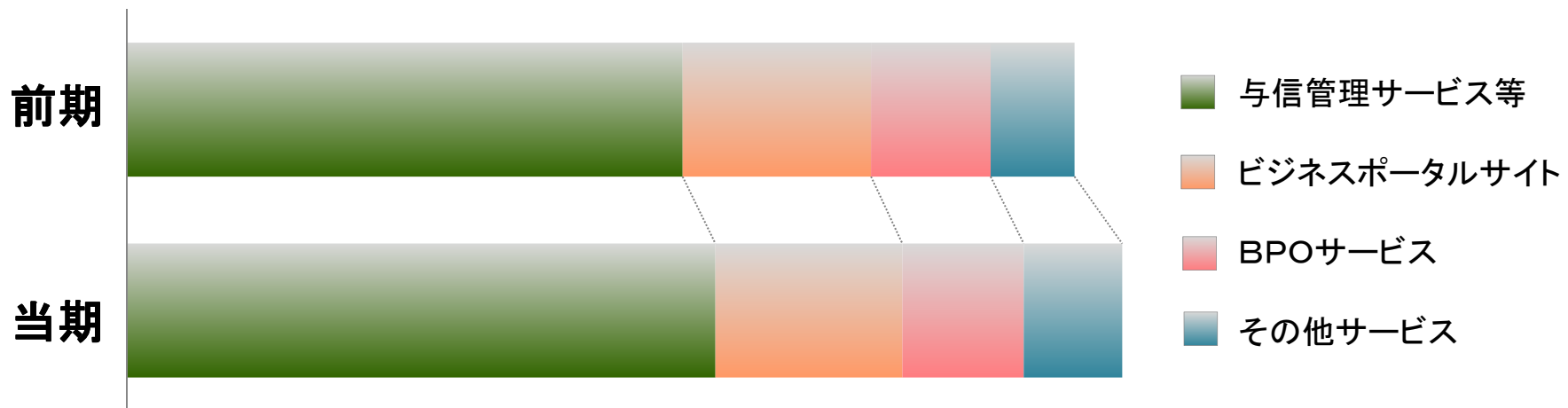
## 営業利益



（単位：千円）

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	1,657,411	1,755,116	97,704	105.9%
ビジネスポータルサイト	561,617	557,174	△4,442	99.2%
BPOサービス	356,305	361,627	5,321	101.5%
その他サービス	250,011	293,538	43,526	117.4%
調整額（注）	△138,605	△156,059	△17,454	—
<b>売上高 計</b>	<b>2,686,740</b>	<b>2,811,396</b>	<b>124,656</b>	<b>104.6%</b>

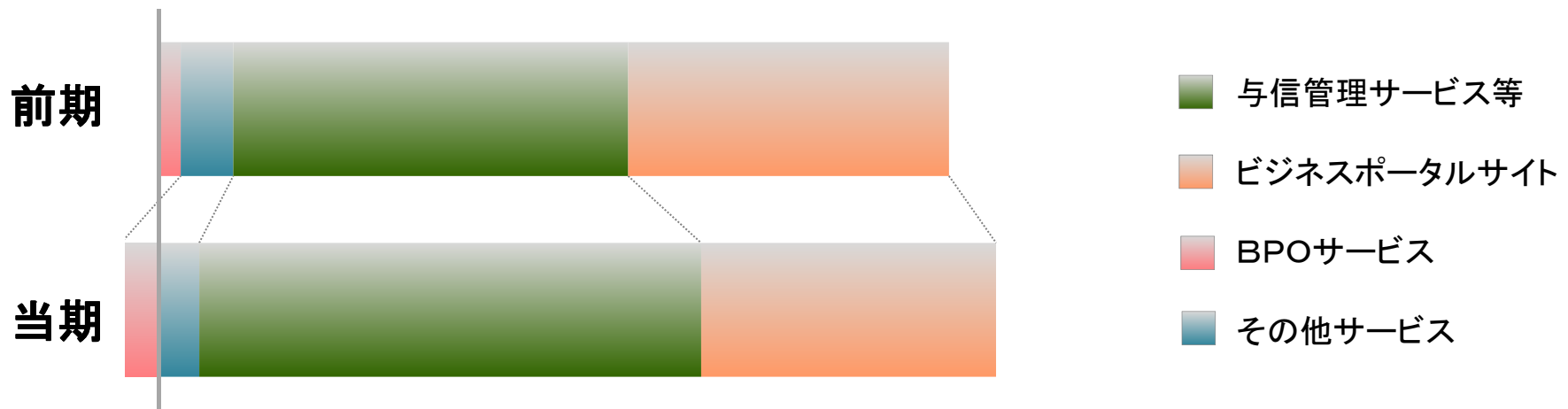
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	235,535	299,368	63,833	127.1%
ビジネスポータルサイト	191,364	175,900	△15,463	91.9%
BPOサービス	12,808	△22,750	△35,558	—
その他サービス	31,343	23,853	△7,489	76.1%
調整額（注）	△89,400	△71,514	17,886	—
<b>セグメント利益 計</b>	<b>381,651</b>	<b>404,858</b>	<b>23,206</b>	<b>106.1%</b>

（注）調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。



(単位：千円)

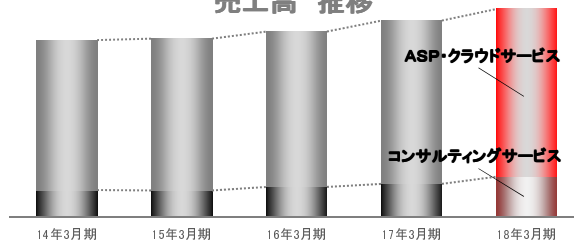
	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	1,375,815	1,412,783	36,967	102.7%
コンサルティングサービス (注2)	281,595	342,333	60,737	121.6%
<b>売上高 計</b>	<b>1,657,411</b>	<b>1,755,116</b>	<b>97,704</b>	<b>105.9%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>235,535</b>	<b>299,368</b>	<b>63,833</b>	<b>127.1%</b>
<b>会員数 (ID) (注3)</b>	<b>5,541</b>	<b>5,907</b>	<b>366</b>	<b>106.6%</b>

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、約440万社の企業情報と企業の信用力を定量化した与信情報を、インターネット経由で提供するサービス

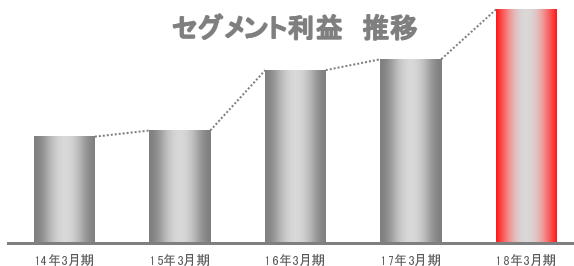
(注2) ポートフォリオサービス及びマーケティングサービス、金融サービス等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

売上高 推移



セグメント利益 推移



### ◆ 売上高

利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したことに加え、コンサルティングサービスが好調だったため、与信管理サービス等全体で前期を上回りました。

### ◆ セグメント利益

売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

(ご参考) セグメント利益率 (前期) 14.2% → (当期) 17.1%



(単位：千円)

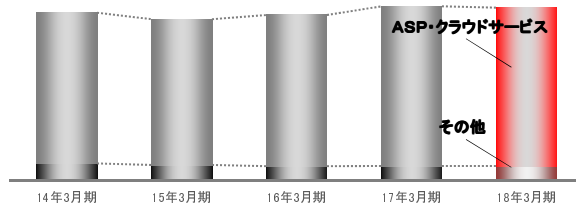
	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	513,524	509,290	△4,234	99.2%
その他 (注2)	48,092	47,884	△207	99.6%
<b>売上高 計</b>	<b>561,617</b>	<b>557,174</b>	<b>△4,442</b>	<b>99.2%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>191,364</b>	<b>175,900</b>	<b>△15,463</b>	<b>91.9%</b>
<b>会員数 (ID) (注3)</b>	<b>3,039</b>	<b>3,058</b>	<b>19</b>	<b>100.6%</b>
<b>ユーザー数</b>	<b>127,915</b>	<b>131,724</b>	<b>3,809</b>	<b>103.0%</b>

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

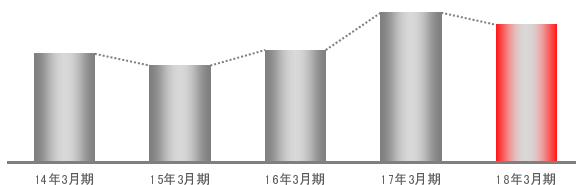
(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

売上高 推移



セグメント利益 推移



### ◆ 売上高

ディスク容量の利用は減少傾向であるものの会員数増加による基本料金が堅調に推移し、売上高はほぼ前期並みとなりました。

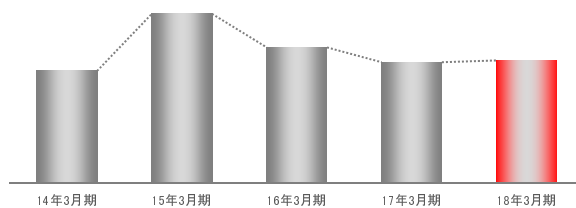
### ◆ セグメント利益

新サービスのマーケティング費用が発生したため、前期を下回りました。

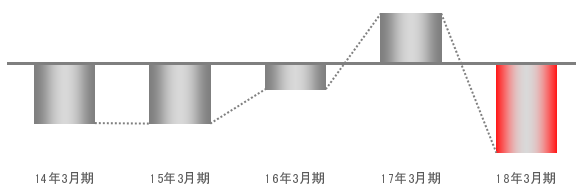
(単位 : 千円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	356,305	361,627	5,321	101.5%
<b>売上高 計</b>	356,305	361,627	5,321	101.5%
<b>セグメント利益</b>	12,808	△22,750	△35,558	—

売上高 推移



セグメント利益(損失) 推移



### ◆ 売上高

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが堅調に推移したことに伴い、前期を上回りました。

### ◆ セグメント利益

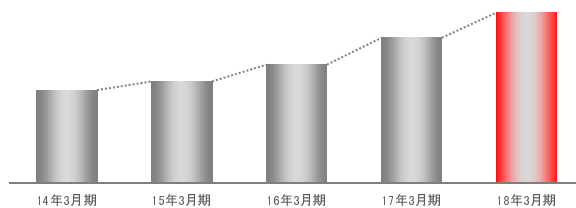
新規案件が増加し初期の運用費用が発生したこと、利益率の高い既存案件が減少したこと等により、セグメント損失となりました。

(単位：千円)

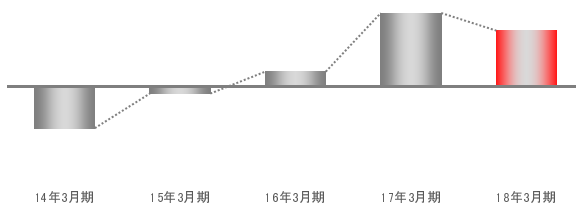
	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	250,011	293,538	43,526	117.4%
<b>売上高 計</b>	250,011	293,538	43,526	117.4%
<b>セグメント利益</b>	31,343	23,853	△7,489	76.1%
<b>会員数(ID)</b> (注)	2,258	2,475	217	109.6%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

売上高 推移



セグメント利益(損失) 推移



### ◆ 売上高

教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,825会員となり、売上高は順調に推移しました。また、利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は650会員となり、中国信用調書の利用が好調に推移しました。その結果、「教育関連事業」等を含むその他サービス全体の売上高は前期を上回りました。

### ◆ セグメント利益

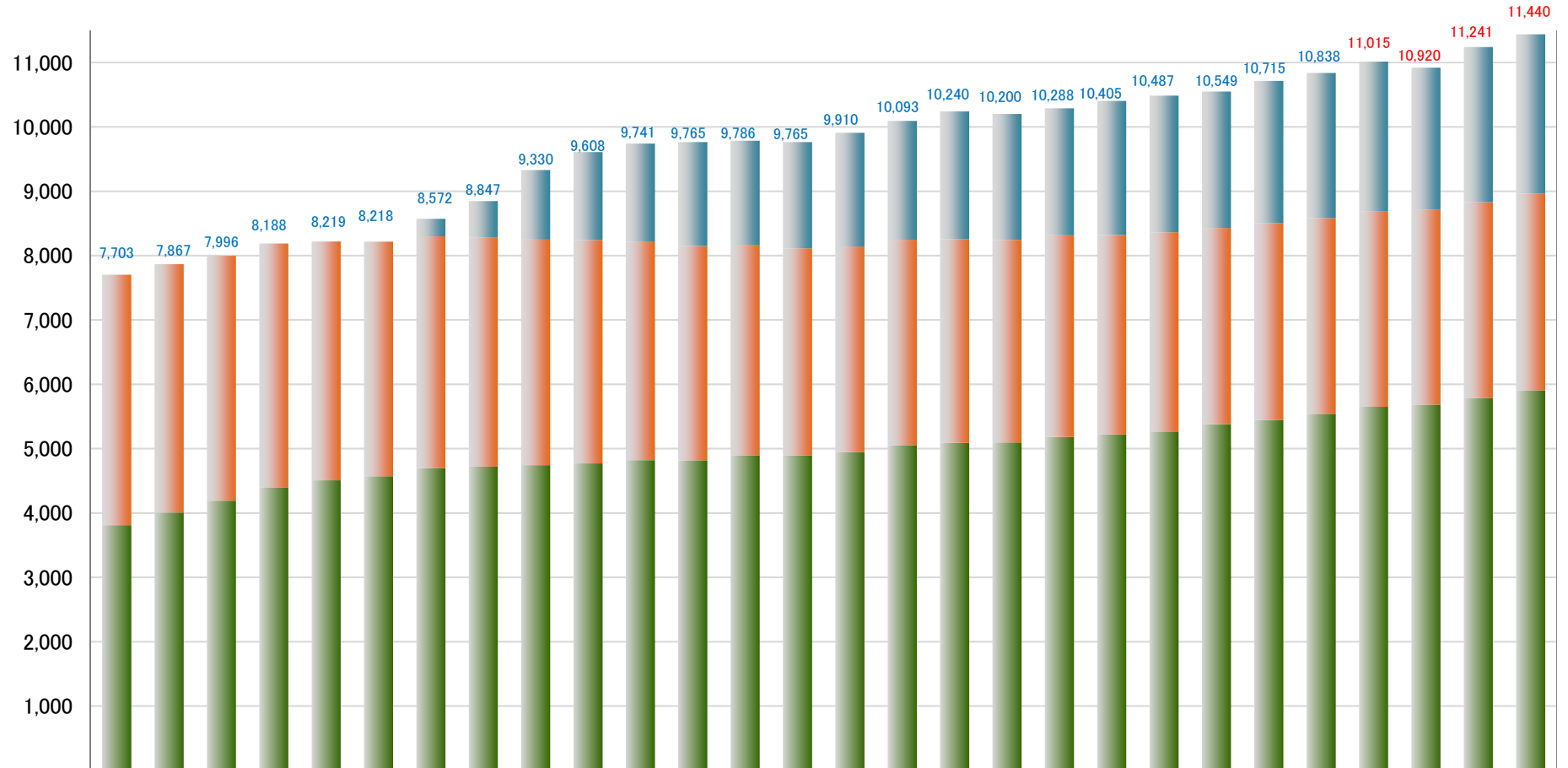
教育関連事業において、教育コンテンツの先行投資費用が発生したため、前期を下回りました。



# 10. 会員数推移(四半期)



(単位 : ID)



	2011年			2012年				2013年				2014年				2015年				2016年				2017年				
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
■ 与信管理サービス等	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379	5,446	5,541	5,650	5,683	5,789	5,907
■ ビジネスポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051	3,057	3,039	3,042	3,033	3,041	3,058
■ その他サービス(注2)	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652	1,768	1,847	1,984	1,956	1,972	2,084	2,124	2,119	2,212	2,258	2,323	2,204	2,411	2,475
<b>会員数計</b>	<b>7,703</b>	<b>7,867</b>	<b>7,996</b>	<b>8,188</b>	<b>8,219</b>	<b>8,218</b>	<b>8,572</b>	<b>8,847</b>	<b>9,330</b>	<b>9,608</b>	<b>9,741</b>	<b>9,765</b>	<b>9,786</b>	<b>9,765</b>	<b>9,910</b>	<b>10,093</b>	<b>10,240</b>	<b>10,200</b>	<b>10,288</b>	<b>10,405</b>	<b>10,487</b>	<b>10,549</b>	<b>10,715</b>	<b>10,838</b>	<b>11,015</b>	<b>10,920</b>	<b>11,241</b>	<b>11,440</b>

(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

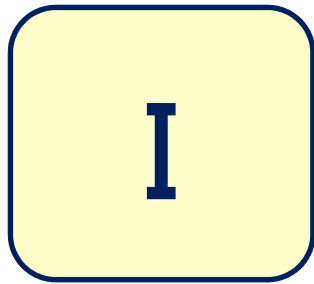
(単位：千円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,570,229	2,429,304	△140,924	94.5%
固定資産	2,698,912	2,860,724	161,812	106.0%
<b>資産合計</b>	5,269,141	5,290,029	20,888	100.4%
流動負債	526,243	445,736	△80,507	84.7%
固定負債	516,664	486,849	△29,814	94.2%
<b>負債合計</b>	1,042,908	932,586	△110,321	89.4%
純資産	4,226,233	4,357,443	131,210	103.1%
<b>負債・純資産合計</b>	5,269,141	5,290,029	20,888	100.4%
<b>自己資本比率</b>	79.1%	81.1%	—	—
<b>1株当たり純資産(BPS)</b>	1,059.87円	1,103.29円	43.42円	104.1%
<b>株価純資産倍率(PBR)</b>	0.97倍	1.30倍	—	—

自己資本比率は81.1%と高水準を維持しております。

## リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】  
2018年3月期



### 【RM財務格付定義】

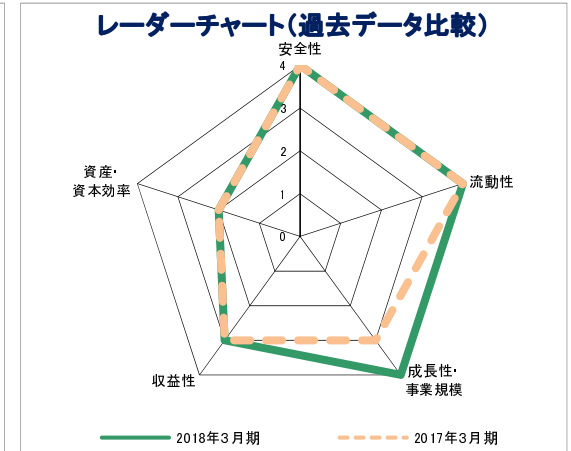
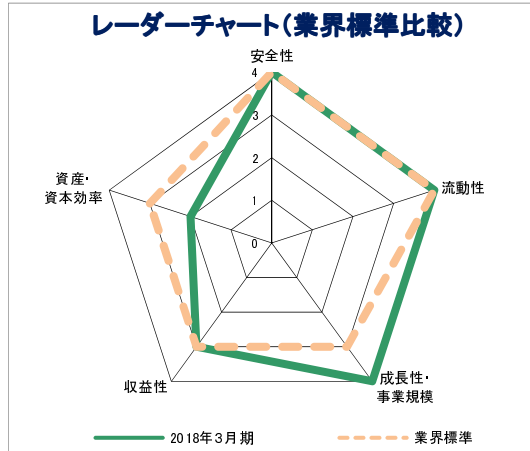
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

### 【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

### 【RM財務格付履歴】

2018年3月期	2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期
I	I	I	I
2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
I	I	I	I
2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期
I	I	I	I



安全性	2018年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2017年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2018年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2017年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2018年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2017年3月期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆ ☆	

成長性・事業規模	2018年3月期	☆ ☆ ☆
	2017年3月期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆ ☆	

資産・資本効率	2018年3月期	☆ ☆
	2017年3月期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。  
☆が表示されない項目は、評価対象外です。  
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

<b>総合評価</b>	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2018年3月期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

### 【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、利益剰余金を210百万円積み増したことで、自己資本比率は前年度79.1%から81.1%へと2.0ポイント上昇し、非常に高い安全性水準を維持している。

流動性に関しては、流動比率545.0%(前期比56.6ポイント上昇)、当座比率514.0%(同39.0ポイント上昇)と、前年度に比べ改善が見られ、引き続き高い水準を維持している。現預金残高においては1,813百万円と前年度よりは減少しているものの、月商の7.7か月分を有しているなど、依然として十分な資金繰り余力を有している。総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と見られる。

### 【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比104.6%となり、2期連続での増収推移となった。これは、主力サービスである与信管理サービス事業における売上高が105.9%の増収推移となったほか、デジタルデータ化等BPOサービス事業で101.5%、「教育関連事業」等を含むその他サービス事業で117.4%とそれぞれ増収推移となったことが要因である。本業を中心に概ね堅調に推移しており、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

利益面においては、連結決算の粗利率が前年度56.1%から55.2%に低下したものの、販売費及び一般管理費が微増に留まったことで、売上高営業利益率14.4%(0.2ポイント上昇)、売上高経常利益率14.5%(0.1ポイント上昇)、売上高当期純利益率9.3%(0.1ポイント上昇)と各利益段階においてほぼ前期並みの利益率を確保し、増益基調での推移を続けている。収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

連結決算における資産効率について考察すると、従来改善の余地が指摘されていたROAにおいて収益効率の改善によって、5.0%と0.3ポイント上昇し、前期に引き続いて改善傾向が見られている。効果的な投資による財務体質の改善が図られているといえよう。

(単位：千円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業活動	709,619	454,918	△254,701
投資活動	△377,131	△365,968	11,163
財務活動	△192,588	△306,602	△114,014
現金に係る 換算差額	△2,075	30	2,106
<b>現金増減額</b>	137,823	△217,621	△355,445
現期首残金高	1,892,544	2,030,367	137,823
現期末残金高	2,030,367	1,812,746	△217,621

### ◆営業活動

税金等調整前当期純利益	404,911
減価償却費	299,686
法人税等の支払額	△172,907

### ◆投資活動

投資有価証券の償還による収入	18,702
有形固定資産の取得による支出	△58,946
無形固定資産の取得による支出	△260,195
投資有価証券の取得による支出	△81,378

### ◆財務活動

自己株式の処分による収入	133,752
自己株式の取得による支出	△328,316
長期借入金の返済による支出	△60,160
配当金の支払額	△51,057



## リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう  
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定（2016年～2020年）

[ キーワード ]

**一人前の会社になる**

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画（2016年～2018年度）」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 経常利益、ROE等について具体的な目標設定

## ① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

## ② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

## ③ 資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

## ④ 株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

		方針	狙い
<b>① 与信管理サービス事業</b>  	BPOサービス事業での業務請負運営ノウハウ及びシステムの管理運営ノウハウを総合する。	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)となり、与信管理業界におけるリーダーを目指す。	
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮する。	限界利益率の向上を図る。	
<b>② ビジネスポータル事業</b>  	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化する。	安定成長を目指す。	
	ポータル事業としての深化と強化を実現する。	サービスの浸透度を深める。	
<b>③ BPOサービス事業</b>  	国内外センター再編を実現し、採算管理及び納期管理を徹底する。	グループ全体のコスト削減に貢献する。	
	業務請負からコンサルサービスへ転換する。	グループのシナジー効果を追求する。	
<b>④ その他事業</b>  	◆ 教育関連事業 新規開発投資の継続と事業の挺入れを行う。	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力する。	
	◆ 海外事業 グループ商材の海外での拡販やシステム受託を進める。		
	◆ 新規事業 周辺サービス、フィンテック企業との連携など新規事業につながるアライアンスや資本提携を積極的に行う。		



# 18.2019年3月期 業績予想



(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	2,811	<b>2,950</b>	138	104.9%
営業利益	404	<b>430</b>	25	106.2%
経常利益	408	<b>430</b>	21	105.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	<b>270</b>	7	103.0%
1株当たり 当期純利益(EPS)	67.24円	<b>70.06円</b>	2.82円	104.2%

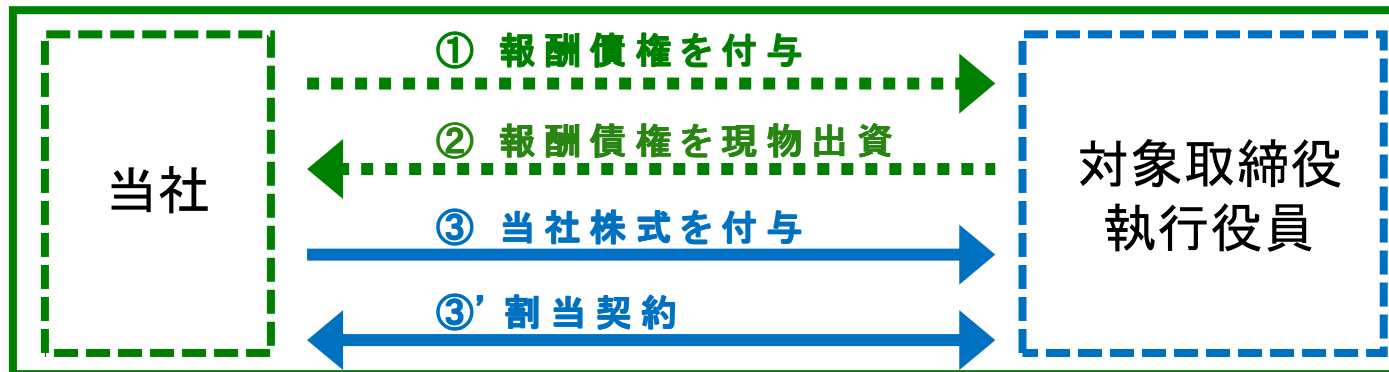
当期につきましては、利益率の高い与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)およびその他サービスのうち教育関連事業が堅調に推移したことにより、売上高、利益ともに前期を上回りました。

次期の景気の前引きは引き続き不透明な状況が続くことが予想されますが、2016年4月にスタートした長期ビジョン「RismonG-20」およびそのマイルストーンである「第5次中期経営計画(2016~2018年度)」に沿い、目標達成のためにグループ一丸となって取り組んでまいります。

## 譲渡制限付株式報酬制度導入の理由

- ◆ コーポレートガバナンス・コードの要請
- ◆ 企業価値の持続的な向上を図るインセンティブ
- ◆ 株主の皆様との一層の価値共有

## 譲渡制限付株式報酬制度の概要



### 割当契約の概要

一定期間の譲渡、担保設定等の処分を制限。

譲渡制限期間中の辞任等の場合に無償取得。

## 譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分について

- ◆ 対象者および割り当て株式数 : 業務執行取締役(1名) 12,000 株  
執行役員(4名) 16,000 株
- ◆ 処分株式数 : 普通株式 28,000 株
- ◆ 処分価額 : 1株につき 988 円
- ◆ 処分総額 : 27,664,000 円

## 自己株式の消却（2017年9月末）

将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、全ての自己株式を消却いたしました。

- ◆ 消却した株式の総数 : 105,000 株
- ◆ 消却後の発行済み株式総数 : 3,923,500 株
- ◆ 消却後の自己株式 : 0 株

## 自己株式の取得（2018年3月15日～2018年4月30日）

機動的な資本政策を実施することで資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

### 2018年3月14日開催 取締役会における決議内容

- ◆ 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 取得し得る株式の総数 : 71,500 株（上限）
- ◆ 株式の取得価額の総額 : 100,000,000 円（上限）
- ◆ 取得期間 : 2018年3月15日～2018年4月30日

### 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式

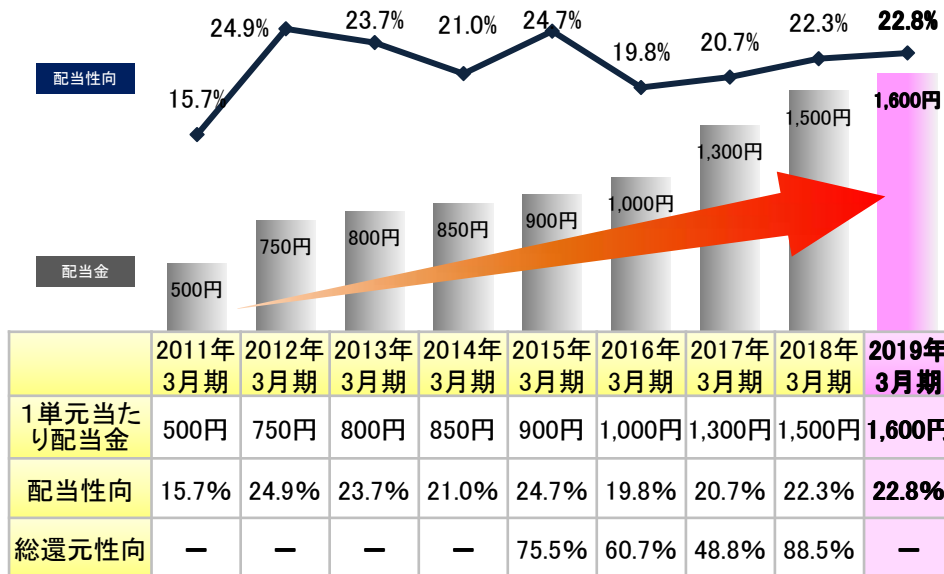
- ◆ 取得した株式の総数 : 70,200 株（上限に対する取得率 : 98.18%）
- ◆ 取得価額の総額 : 99,864,500 円（上限に対する取得率 : 99.86%）

### 2018年4月30日時点の自己株式の保有状況

- ◆ 発行済株式総数（自己株式を除く） : 3,850,800 株
- ◆ 自己株式数 : 72,700 株

## 株主還元

- ◆ 当連結会計年度は1単元当たり1,500円(1株当たり15.0円)の配当予定です。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指します。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標といたします。
- ◆ 2019年3月期は、1単元当たり1,600円(1株当たり16.0円)の増配予想です。



(注) 1単元 = 100株

## 株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただき、株主優待を実施いたします。

当期は、当社キャラクター「リスモング」をモチーフとしたオリジナル商品を選択肢に加えさせていただきました。



保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有株式数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

## 第18回 定時株主総会

2018年6月26日に第18回定時株主総会を開催いたします。

昨年に引き続き、株主総会と各部門担当による事業説明会を実施予定です。

リスモンオリジナルグッズのお土産をご用意して皆様のご来場をお待ちしております。



< 第17回 株主総会の様子 >

## リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる「リスモンちゃんねる」で当社のIR動画を配信しております。

また、各地の人生の達人の方などに「信用」をテーマに語っていただくインタビュー・シリーズのPR動画も配信しております。



IR動画

< リスモンちゃんねる 2017 冬 撮影の様子 >



PR動画

< 人生の達人に聞く～あなたにとって信用とは? >





## お問い合わせ先

### 【IRに関するお問い合わせ】

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352

FAX : 03-6214-0431

Mail : [ir@riskmonster.co.jp](mailto:ir@riskmonster.co.jp)

### 【会社名】

リスクモンスター株式会社

<http://www.riskmonster.co.jp>

### 【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

### 【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<http://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社

<http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<http://www.rismon.com.cn>



## ■ オーディオラーニング「聴くだけで学べる ビジネスマナー」

2017年8月28日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスタース株式会社は、eラーニングの新サービスとなるオーディオラーニング「聴くだけで学べる ビジネスマナー」の提供を開始いたしました。

オーディオラーニングは、音声のみで受講いただく、新しいeラーニングサービスです。音声のみで学習いただきますので、移動時間などのスキマ時間を有効活用いただけます。また、倍速再生やプレイリスト再生も可能なため、受講シーンに合わせた学習が可能です。

## ■ コース紹介

### 1. 「聴くだけで学べる ビジネスマナー」

本コースでは、新社会人の基本マナーから、ビジネスコミュニケーションの基礎と実践など、社会人としてまずは見につけるべきビジネスマナーを簡単に学ぶことができます。また、電話対応や応接、訪問の実践ポイントなどをご紹介します。

### 2. 特長

先輩社員(女性)と新入社員(男性)の掛け合いによる学習形式です。「問いかけ」によるシンキングがあり、受講者自身に考えさせる形式です。ビジネスシーンでよくあるケースをもとに、模範例を聞いて学ぶことができます。バックにBGMが流れ、ラジオ感覚で気軽に聴くことができます。倍速再生やプレイリスト再生など、シーンに合わせた学習が可能です。



<スマートフォン・タブレット>



<パソコン>

## ■ サイバックスUniv. 研修一覧

階層別
管理職
新任管理職
中堅社員
若手社員
新入社員／内定者
営業／接客
製造／物流
人事
資格
全社員向け(全社共通)
IT／PCスキル
経理／財務
与信管理
キーワード・テーマ別
コンプライアンス
ビジネスのフレームワークを習得する
Officeスキルを基礎から身につける
レベルに応じたTOEIC(R)のスコアアップ

**サイバックスUniv. とは** ?

社員研修ポータル・eラーニング・公開研修を低価格でご利用いただける会費制の社員研修サービスです。

2017年8月 5コース追加  
2017年11月 5コース追加  
(全10コース)

2017年12月 1コース追加

2017年6月 2コース追加

2017年9月 6コース追加

## ■ クラウド型勤怠管理サービス『 J-MOTTO Web勤怠 』

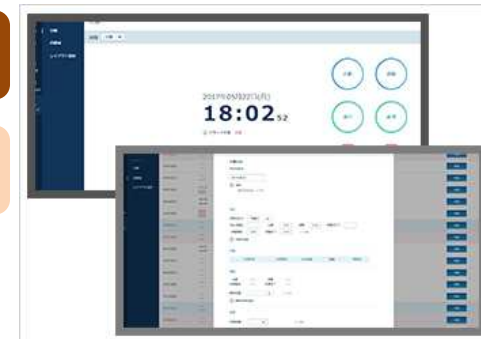
2017年6月1日より、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」の提供を開始いたしました。

クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」は、シンプルなデザインと操作性で、マニュアル無しでも従業員様が簡単に利用でき、かつ人事・総務のご担当者様も導入負担が少なく、効率的に管理業務も行なえるサービスです。費用も安価なことから、大幅な業務改善とコストダウンが同時に実現できます。

## ■ 特長

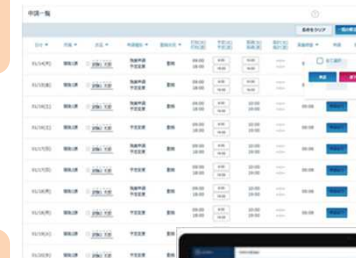
### ポイント① 「誰でもすぐに使える」簡単、シンプルな画面

ブラウザでの打刻、ICカード打刻に対応しています。休暇や残業の申請も手間なく行えます。



### ポイント② 管理業務を楽にする充実機能

従業員へ勤怠アラートを自動送信します。申請承認も一括で出来るので管理業務にかかる時間を大幅に削減できます。



### ポイント③ マルチデバイス対応

スマホ・タブレットにも対応しています。外出先から打刻可能、スマホのGPS情報を使って位置情報を記録することもできます。



## ■ 商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」サービス提供開始

2017年10月2日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、営業支援系サービスの一環として商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」の提供を開始いたしました。

日本の全企業(約440万)の基礎情報を予め内蔵しており、取引先の登録が簡単に行なえます。またシンプルかつ低価格としておりますので、営業情報の共有を容易に進めることができ、属人的な営業からの脱却や煩雑な報告書管理からの解放を図ることができ、効率的な営業活動を実現していただくことができます。

## ■ 特長

### 1. 顧客登録や顧客管理が簡単

法人登記されている日本の全企業の基礎情報(約440万社)が内蔵されており、取引先を検索すると候補が自動表示されるため、取引先候補の企業リストを予め準備する手間と時間が削減できます。また、法人番号を通じて、取引先の重複がなく管理することが可能です。基礎情報は適時メンテナンスをしていますので情報鮮度が保持されています。

### 2. 商談管理と日報管理に特化したシンプルなインターフェース

商談管理や日報管理に必要な機能である「いつ、誰が、誰と、何の商談をして、見込の確度はどうか」を記録・共有・集計する機能を搭載し、使用頻度の高い機能のみを限定して搭載しているため、非常に使いやすいツールとなっています。また、商談の進捗把握が容易なため、関係者間での情報共有により担当者へ適切なアドバイスが集まりやすくなり、ムダのない営業活動が行なえます。



設立来、11,000超の法人会員と契約を実現したリスモングループで実際に活用している独自開発のツールです。



## ■ リスクモンスタースタグループBPO事業ならびに日本アウトソース株式会社 事務所移転のお知らせ

リスクモンスター・グループのBPO事業の中核会社でありますリスモン・マッスル・データ株式会社ならびに日本アウトソース株式会社は事務所を移転し、2018年5月7日(月)より営業を開始いたしました。これを機に社員一同一層業務に邁進してまいります。

(新住所)

〒141-0031

東京都品川区西五反田7丁目24 番5号

西五反田102ビル 7階

(電話番号)

リスモン・マッスル・データ株式会社 03-5719-5441 (代)

日本アウトソース株式会社 03-5719-5445 (代)

(FAX番号)

2社共通 03-3494-0161 (代)

